

ファンガード点滴用の溶解方法

泡立ちやすい製剤です。ご注意ください。

医療関係者用



1 注射器を用いて生理食塩液等の輸液を適量(約5mL)吸引して下さい。

[注意] 溶解にあたっては、注射用水を使用しないで下さい。(溶液が等張とならないため)



2 ファンガードバイアルのキャップをはずし、針をバイアルの壁面に沿わせてゆっくり注入して下さい。



3 泡立たないように注意しながらバイアルを静かに振って下さい。栓の付近を含めて、すべての粉末が溶解したことを確かめて下さい。



4 投与に必要な量の溶液をバイアルからゆっくり吸引し、輸液に戻して下さい。点滴容器のゴム栓部を下にして持ち、ゆっくり注入すると泡立ちを抑えることができます。

14. 適用上の注意

14.1 薬剤調製時の注意

本剤は溶解時、泡立ちやすく、泡が消えにくいので強く振り混ぜないこと。

14.3 薬剤投与時の注意

光により徐々に分解するので直射日光を避けて使用すること。また、調製後、点滴終了までに6時間を超える場合には点滴容器を遮光すること。点滴チューブを遮光する必要はない。



キャンディン系抗真菌剤(注射用ミカファンギンナトリウム) 薬価基準収載

ファンガード®点滴用 25mg
50mg
75mg

劇薬、処方箋医薬品
(注意-医師等の処方箋により使用すること)

Funguard®

[注意]・キット製剤で直接溶解する際には、ゴム栓天面中心部に注入針をひねらず垂直に刺突して下さい。(斜めに刺すとゴム栓が脱落することがあります)

■「警告・禁忌を含む注意事項等情報」等の詳細は、電子化された添付文書をご参照ください。
なお、このDIIは印刷日現在の電子化された添付文書に準じたものです。改訂にご留意ください。



(23年7月作成)SW

FUN93001Z04

配合禁忌及び配合注意

配合禁忌

14.2 配合禁忌

本剤は他剤と配合したとき、濁りが生じることがある。また、本剤は塩基性溶液中で不安定であるため、力価の低下が生じることがある。下表に配合直後に濁りが生じる主な薬剤及び配合直後に力価低下が生じる主な薬剤を示す。

配合直後に濁りが生じる主な薬剤

バンコマイシン塩酸塩、アルベカシン硫酸塩、ゲンタマイシン硫酸塩、トブラマイシン、ジベカシン硫酸塩、ミノサイクリン塩酸塩、シプロフロキサシン、パズフロキサシンメシル酸塩、シメチジン、ドブタミン塩酸塩、ドキサラム塩酸塩水和物、ペンタゾシン、ナファモスタットメシル酸塩、ガベキサートメシル酸塩、チアミンジスルフィド・ピリドキシリン塩酸塩・ヒドロキシコバラミン酢酸塩、メナテトレノン、乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン、ドキソルビシン塩酸塩

配合直後に力価低下が生じる主な薬剤

アンピシリンナトリウム、スルファメトキサゾール・トリメトプリム、アシクロビル、ガンシクロビル、アセタゾラミドナトリウム

配合注意

配合注意：電子化された添付文書には掲載していませんが、ファンガードと配合変化が生じる主な薬剤を示します。

分類	一般名	配合変化
抗生物質製剤	パニペナム・ベタミブロン	力価低下
	メロペナム水和物	
	レボフロキサシン水和物	配合直後より結晶析出
消化性潰瘍剤	オメプラゾールナトリウム水和物	力価低下
強心剤	アミノフィリン水和物	力価低下
利尿剤	カンレノ酸カリウム	力価低下
	フロセミド	

配合変化試験に関する詳細は、「医療関係者向け情報サイト アステラスメディカルネット <https://amn.astellas.jp/>」をご参照いただくか、弊社医薬情報担当者までご連絡ください。

製造販売 **アステラス製薬株式会社**

東京都中央区日本橋本町2-5-1

【文献請求及び問い合わせ先】メディカルインフォメーションセンター ☎ 0120-189-371
【医薬品情報サイト】<https://amn.astellas.jp/>



0114987233172014 ファンガード点滴用25mg、50mg、75mg

専用アプリ「添文ナビ」でGS1バーコードを読み取ることで、最新の電子添文等を閲覧できます。